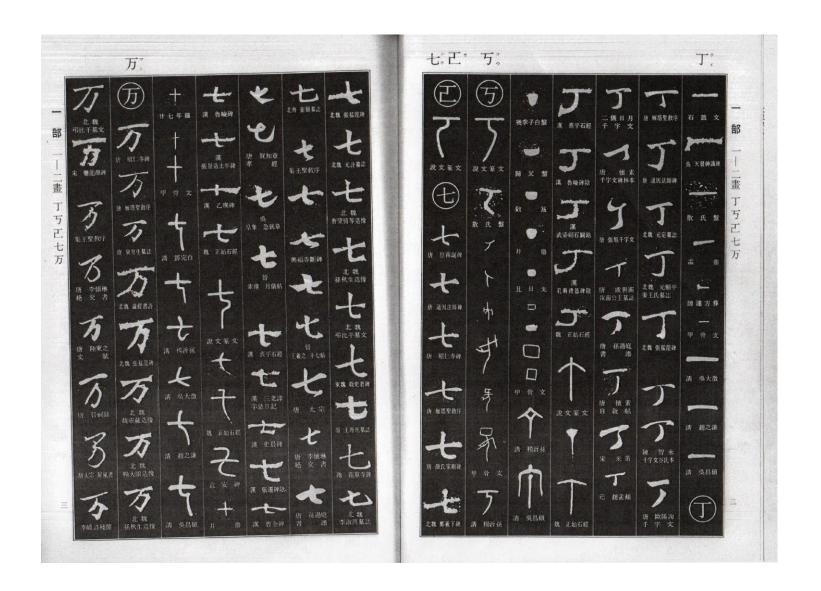
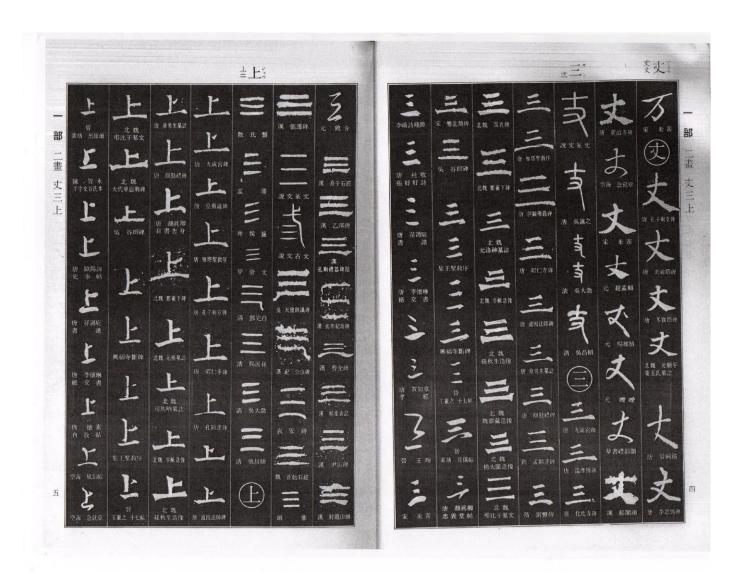
以下に示す数詞は「書道大辞典」(全二冊)からの引用である. 編者 伏見 冲敬 昭和49年7月1日初版発行 昭和53年9月10日35版発行 角川書店 引用のページ数はそれぞれの数詞の欄外に示してある.

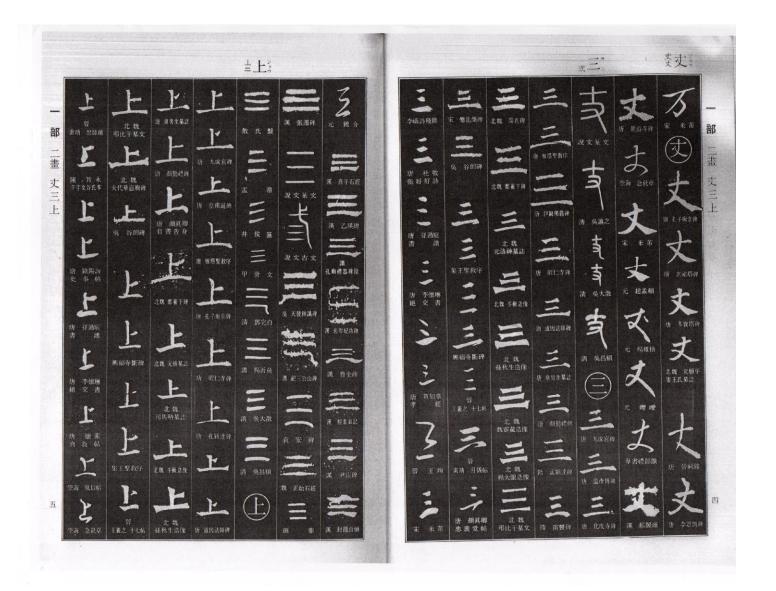
白川によれば、「漢字ほど、「人間的表徴」として、その自己表現を求めつづけてきた文字体系は、他にその例をみない。そこには、神聖文字の伝統があった」とされるが、「人間的表徴」としての「書道」が成立していると考えられる。

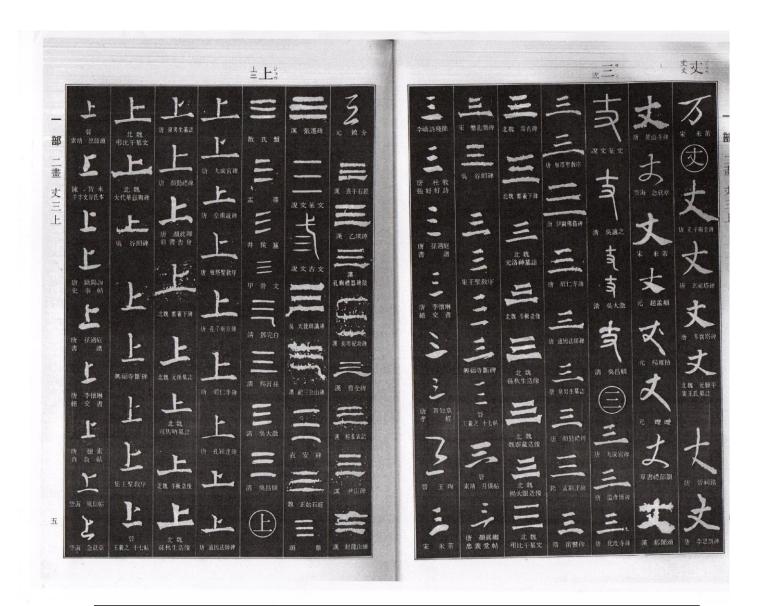


一部 一一二畫 P2--3

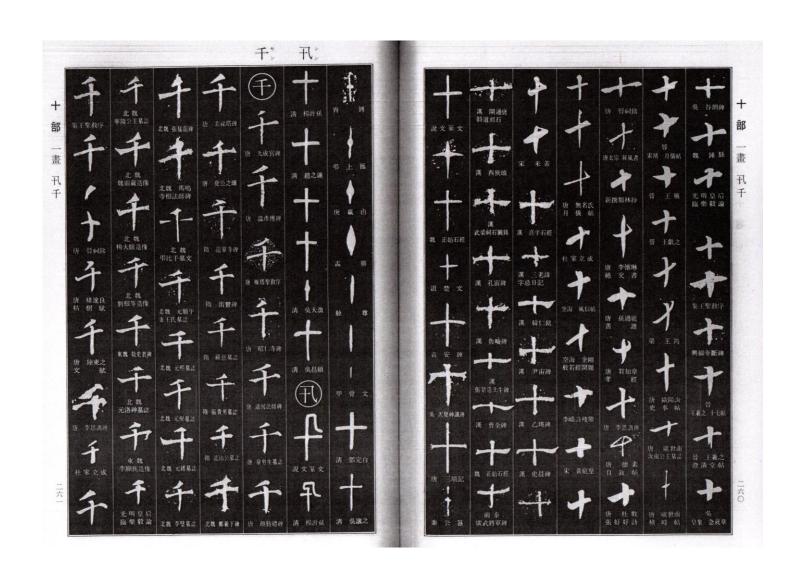


一部 二畫 p4-5





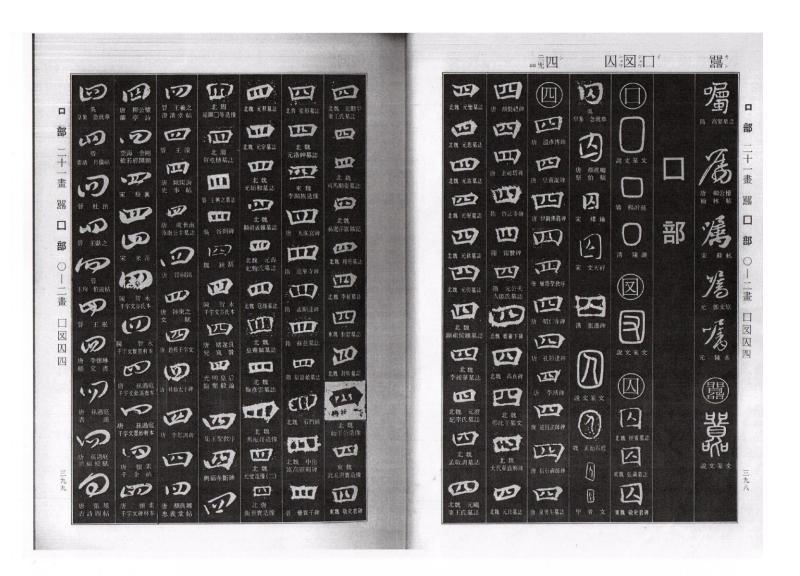
一部 二畫 p4-5

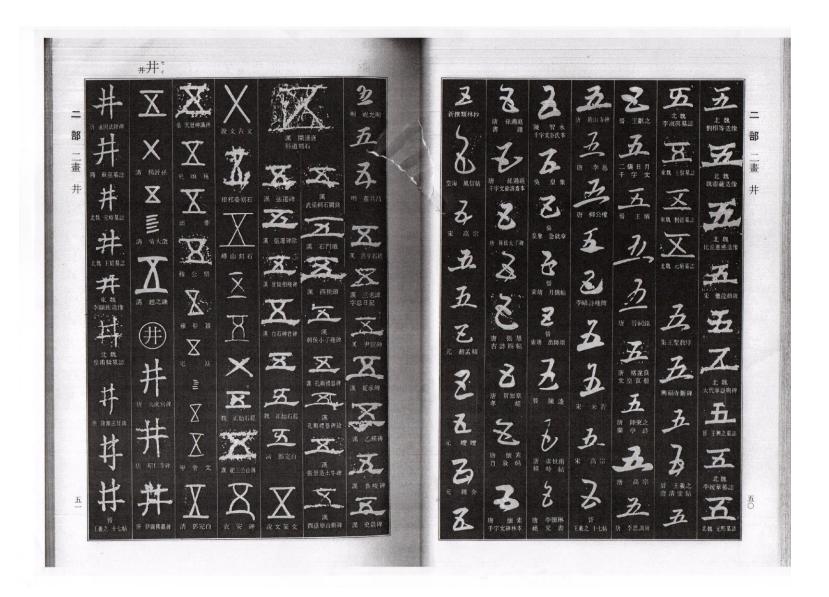


十部 一畫 P260-261

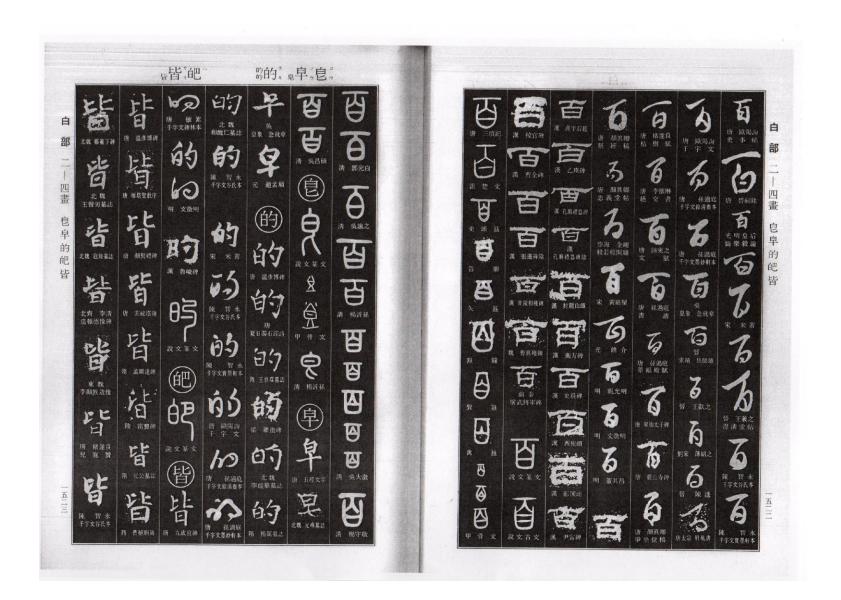


十部 一畫 升 P262-263





二部 二畫 井 p50-51

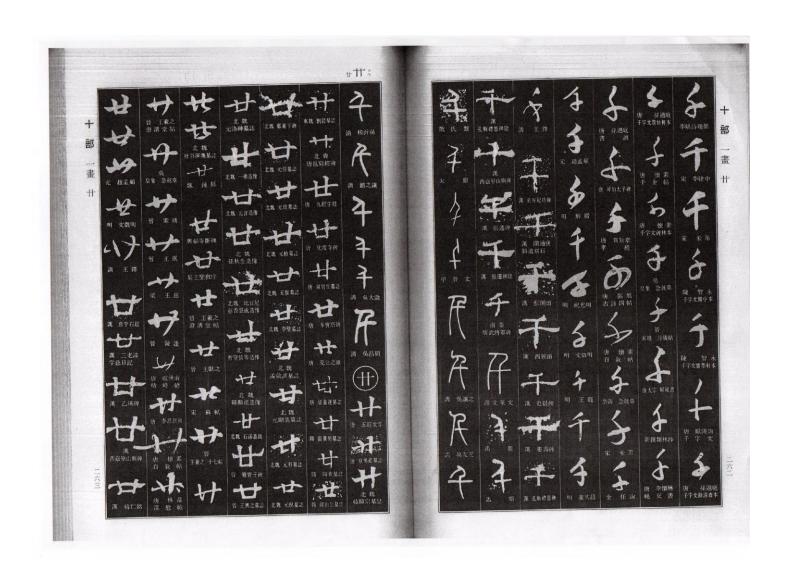


白部 二一四畫 p1522-1523



皮

百部 七一十五畫 p1528-1529 百を二つ並べて二百とする(「説文解字」卷四上



十部 一畫 p262-263



艸部 九畫 p1910-1911